



清峰だより

平成 28 年 10 月 28 日 (金) 発行
長崎県立清峰高等学校
学校通信 第 115 号
発行責任者 校長 井上 龍二

巻頭言

教頭 松尾 俊彦

「何もないことをおそれるな！」

＜親戚のおじさん＞

そのおじさんが亡くなってもう 10 数年になります。陽気で冗談好きで、詩吟や日本舞踊もこなす芸達者な方だった。お祝いなどの宴では踊りを披露したり、楽しい話で場を盛り上げたり何かと忙しい。大体、どの一族にもこういった社交的な方がいるもので、私はこのおじさんの事が好きでした。昔の大人はお酒に酔うと親戚の子どもたちを前にお説教をしたものです。たいていは適当に聞き流していましたが、一つだけ覚えていたものがあります。

「金のある奴は金を出せ。智恵のある奴は智恵を出せ。何もない奴は汗を出せ。」

有名な人物の格言というわけでもなく田舎で言い伝えられてきた言葉なのでしょう。出せるものといったら汗しかないなんて、少しさびしい感じもします。しかし、私は「何てうまいこと言うんだろう」と感心したものでした。今でもこの言葉は社会の真理を言い当てたものであると思っています。「私は平凡な人間である。私には金も智恵も何もない。ついでに才能もない。では、どうすればいいんだろう？そうか、汗を出せばいいんだ。何も取り柄がなくても汗を出して一生懸命続けていけば何とかなる。」何だか救われた気持ちになるのです。

＜何もなくていい＞

結局、大多数の平凡な私たちは人というほど取り柄があるわけではありませんが、厳密には何もないわけでもなく、誰だって好きなものや興味・関心はそれなりにあるものです。ならば、自分の個性ややりたい事に従って、何か皆のため世の中の為になるような仕事ができれば、それが幸せなことなのではないでしょうか。夢や目標がある人はそれでいい。お金や天性の才能に恵まれている人であるならばそれもいい。それを生かせばいい。でも、何もなくていい。何もない奴には何もないという強みがあるのです。失うものがないのですから、怖いものもないはず。思い切りやってみましょう！一生懸命に汗を出していれば、いつの日か、その道の本物に変わっている自分を発見できると思いますよ。

清華伝承
輝き
一瞬一瞬を大切に

第14回文化祭のご案内

10月29日(土):保護者向け公開

- 12:45～開会行事(体育館)
- 13:00～合唱コンクール本選
- 15:05～表彰式
- 16:10～有志団体発表

今年の課題曲は、校長先生が作詞作曲してくださいました！

10月30日(日):一般公開

- 9:30～ステージ発表(体育館)
コーラス部・吹奏楽部演奏など
- 11:20～展示・模擬店・食物バザー等
(校舎内外)
- 14:00～閉会行事(体育館)

皆様のご来場をお待ちしております！

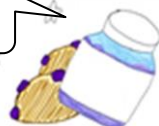
清峰 SHOP オープン！ オリジナル商品の販売

文化祭 2 日目
10月30日(日)
11:20～13:50
場所:教室棟 1 階ゼミ G
《清峰生が考案した!!》

SEIHO ブルーベリーはちみつジャム
校内特価 320円(定価 350円)
SEIHO ブルーベリー米粉パン(3個入)
校内特価 230円(定価 250円)

佐世産産ブルーベリーあいのり使用

とっても
リッチ



セット価格 500円
数量限定で販売いたします！

新生徒会長 抱負

二年一組 竹内 裕亮

「今年はどうかな、大丈夫かな」私が会長になり、こんな言葉をよく聞きます。自分は未熟で、今は慣れることで精一杯です。しかし、そんなことも言っていられません。まずは今月末に控えた文化祭を成功させること、これが私の最初の、最大の目標です。去年よりも進化した文化祭を作り、学校の雰囲気をもさらに良くします。そして、新生徒会執行部以上に活気のある生徒会執行部を作りあげたいです。一年間よろしくお願ひします。

新生徒会執行部発足

8月末に行われた選挙で決定した、新生徒会長の竹内裕亮君、副会長の藁科深月さん、吉村葉奈さんに、14名の総務が加わり、今年度後期から1年間の任期で、総勢17名の生徒会執行部が発足しました。

これから1年間、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします！



PTA地区別研修会

10月22日(土)、平戸文化センターにおいて、長崎県公立高等学校PTA連合会地区別研修会が開催され、海きらら館長の川久保晶博先生による「九十九島の自然と海きららの取り組み」と題しての講演や、松浦高校PTAによる研究発表がおこなわれました。

統一あいさつ運動ご協力のお願い

11月11日(金)に毎年恒例の三地区PTA統一あいさつ運動がおこなわれます。朝7時半から、本校正門・MR 清峰高校前駅において行いますので、御協力をお願いします。

1・2年生科目選択三者面談

来年度の選択科目決定に向けて、9・10月は、三者面談をとおして、進路等の相談を行いました。いよいよ生徒は、選択した科目にしたがい進路実現に向けて励んでいきます。

学校説明会・入試説明会 開催

本校の特色や入試制度について、説明する学校説明会が10月8日(土)、15日(土)、入試説明会が10月17日(月)に本校で開催され、多くの方に参加して頂きました。

11月の主な行事予定

- 2日(水) 交通安全の日 高総体駅伝大会 教育実習(～11/16)
- 5日(土) 対外模試(3年)、佐々青少年音楽祭
- 6日(日) 対外模試(3年)
- 8日(火) DV防止教室(1年) ドリコム進学ガイダンス(体育文化館)
- 11日(金) 三地区PTA統一あいさつ運動 県総文祭開会式(アルカス)
- 12日(土) 3年土曜補習
- 13日(日) 全商電卓検定
- 15日(火) ライブラリーフェスティバル県大会
- 16日(水) マナー講話(1年)
- 19日(土) 3年土曜補習、商業教育合同販売実習
- 21日(月) 考查時間割発表
- 26日(土) 2学年PTA
- 27日(日) 全商ビジネス文書検定、中国語検定 商品開発販売実習(よかばい相浦)
- 28日(月) 第3回考查、1年生授業①～④
- 29日(火) 第3回考查
- 30日(水) 第3回考查

部活動結果報告

ハンドボール部

地区新人戦 優勝

バレーボール部

地区新人戦 3位

ソフトテニス部

地区新人戦 女子個人 3位 鶴、市瀬

コーラス部

九州合唱コンクール 銀賞
NHK杯九州・沖縄ブロックコンクール 奨励賞



職業人講話

10月18日(火)の5校時、1年生の「産業社会と人間」で職業人講話を実施しました。1年生は、9月下旬より「職業理解」というテーマで授業を進めてきました。さらに生徒に職業について考えさせ、望ましい勤労観・職業観を育むために、本校の近隣地域に居住する職業人の方6名を講師としてお迎えし、この講座を開催しました。講師は、服飾製作、販売、製造、消防、保育、医療といった6分野の地域で活躍されている職業人の方々に、各分野での貴重な職業経験を踏まえ講義を行っていただきました。

生徒にとっては、地域の産業を身近に感じ、将来、地域社会に貢献する人材として、働く自分自身の将来像について考える機会になったのではないかと思います。事業所等のご理解・ご協力のおかげで、有意義な体験になりました。

《ご協力頂きました事業所・講師の方々》

- ①服飾製作 西尾 弘毅 様
(西尾洋服店 オーナー)
- ②販売 中村 尚広 様
(尚時堂株式会社 代表取締役 オプトメトリスト)
- ③製造 山本 栄 様
(アリアケジャパン株式会社 総務部次長)
- ④消防 亀山 正宏 様
(佐世保市消防局 総務課)
- ⑤保育 七種 千文美 様
(佐々町第2保育所 主任)
- ⑥医療 村上 真由美 様
(おおさと整形外科 看護部長)



＜生徒の感想＞

今日の講話を聞いて、保育についてだけでなく、やりがいや心構えなど多くのことを教えてもらい、改めて保育士になりたいという気持ちが強まりました。これから広い視野を持つことができるように「目配り、気配り、心配り」を日頃から意識していきたいと思いました。

人生の達人セミナー

図書研修部

10月18日(火)6校時、本校体育館で「人生の達人セミナー」を開催しました。講師として、元長崎歴史文化博物館研究Gリーダーの大石一久氏をお招きし、「世界地図に日本を描かせた少年たち 一天正遣欧使節とその偉業」という演題で、ご講演いただきました。

九州北部の石塔は、約800年くらい前から中国浙江省の石材を用いていたこと。中世日本で、海上交易に従事していた人々は、国際性に富み、多様な価値観をもっていたこと。このような伝統的な海上交易の延長線上で、日本へのキリスト教伝来を理解する必要があること。イエズス会による日本へのキリスト教布教には、救済などの愛ある顔と神社仏閣を破壊する敵意ある顔があるが、有馬セミナリヨをつくったイエズス会のヴァリニャーノは、日本人の優秀性に着目し、神学生の活動によって、日本をキリスト教国にしようとしたこと。天正遣欧使節は、ローマ教皇からも高く評価され、ヨーロッパの人々に、日本を文明国として認知させたこと。明治以後の日本の近代化は、天正遣欧使節の評価の延長線上で理解できること。以上のような興味深いお話でした。(写真は、大石氏が発見した千々石ミゲルの墓と思われる石碑。西日本新聞9月8日より転載。)



読書の秋

図書研修部

10月27日～11月9日は読書週間です。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という考えの下、読書週間は1947年（昭和22）年から始まりました。

全国学校図書館協議会が毎日新聞と共同で、毎年行っている読書状況の調査(2015年の第61回学校読書調査)によると、2015年5月1か月間の平均読書冊数は、小学生は11.2冊、中学生は4.0冊、高校生は1.5冊だそうです。他方、この1か月間に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合は、小学生で4.8%、中学生で13.4%、高校生で51.9%の割合に達しているそうです。

これに対して、スマートフォン等を利用する時間は、161.9分と圧倒的に長いという調査結果があります。(高校生のスマートフォン・アプリ利用とネット依存傾向に関する調査 平成26年5月 総務省情報通信政策研究所)。時にはスマートフォンを手元に置かないで、読書によって、豊かな時間を過ごしてみませんか？(右のポスターは第70回読書週間ポスター)



介護職員初任者研修

本研修は、介護を行う際に必要な基本的な知識と技術を身につけ、そして介護を実践する際の考え方を理解することを目的とした資格です。

県の認定をうけ今年で4回目の開講となります。生活福祉系列の福祉選択生を対象に、2年次10月～3年次7月までの授業を活用し実施します。校内で行われる講義・実習に真剣に取り組み、さらに校外の福祉施設等での実践的な実習を通して、知識・技術・態度を身につけ、理想の介護士像に近づけるよう頑張りましょう。



いきいき地域交流事業



今年度の3年福祉選択生は、7月に介護職員初任者研修を全員修了することができました。これまで学んだ福祉の知識を更に発展させるために、9月から木曜の午後の授業を利用して近隣の高齢者施設を訪問しています。今年は計6回の訪問を計画しています。自分たちで考えた様々な交流プログラムの実践を通じて地域の皆様と楽しいひとときを過ごしています。

この活動によって、様々な方々と出会い、将来、介護士としてきめ細やかな心づかいのできる人材となるよう期待しています。これから訪問させていただく近隣の施設の皆様よろしくお祈りします。



グループホーム愛乃郷訪問